



2020年12月期 第3四半期 決算説明資料

ニューラルポケット株式会社
2020年11月13日

ご挨拶

- 平素より、ニューラルポケットをご支援いただいております株主の皆様、ビジネスパートナーの皆様、地域の皆様に厚く御礼申し上げます。
- 当社は、皆様からのご支援を賜り、創業3期目の本年、東証マザーズ市場への新規上場を致しました。株式上場は、資金調達の多様化や当社の信用向上に寄与し、将来の飛躍と発展を支えるものと考えております。
- 第3四半期決算説明資料では、以下の3点を皆様に共有することで、当社の事業内容や決算概要への理解を深めていただくことを目的としております。
 - (1) 当社が取り組む社会課題と事業内容について**
 - (2) 2020年12月期の進捗と決算ハイライトについて**
 - (3) 今後の事業成長方針について**
- 当社は今後も、国内外の様々なステークホルダーの皆様と共に歩み、持続的かつ卓越した成長を遂げることで、企業価値と株主価値の向上に努めてまいります。今後も、皆様からの格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- **当社が取り組む社会課題と事業内容**
- 2020年12月期の進捗と決算ハイライト
- 今後の事業成長方針

インターネットやスマホを通じて、オンライン世界の利便性は飛躍的に充実しました

あらゆる情報を瞬時に検索



透明性のある在庫・欠品情報



満たされた
ネット社会

宅配サービスやVR/ネットメディア



Zoomや在宅勤務



リアルでの体験価値が見直される中、街なかには多くのアナログな課題が存在しています

紙媒体での情報収集

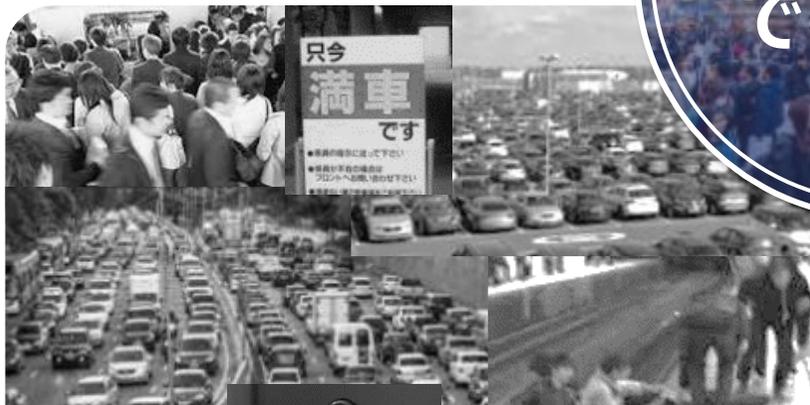


待ち時間や目視での商品探し



リアル空間 での課題

車や電車での混雑



自宅や職場の防犯・健康課題



ニューラルポケットは眼をもったAIカメラを街にもたらすことで
リアル空間のデジタル化と社会課題の解決を目指しております

「AIスマートシティ革命」



スマートシティ領域は大きな新規市場が創出されると期待されています

スマートシティ市場規模は100-200兆円

調査会社・レポート名	世界市場規模*1
Allied Market Research Smart Cities Market by Functional Area : Global Opportunity Analysis and Industry Forecast, 2018 – 2025	2025年に 252兆円
Mordor Intelligence Smart Cities Market - Growth, Trends, and Forecast (2020 - 2025)	2025年に 179兆円
IMARC Smart Cities Market: Global Industry Trends, Share, Size, Growth, Opportunity and Forecast 2020-2025	2025年に 101兆円
Markets And Markets Smart Cities Market by Smart Transportation, Smart Buildings, Smart Utilities, Smart Citizen Services - Global Forecast to 2023	2023年に 76兆円

スマートシティ市場はアジアが成長源

スマートシティ市場 地域別の成長率 (2019-2024)



Source: Mordor Intelligence

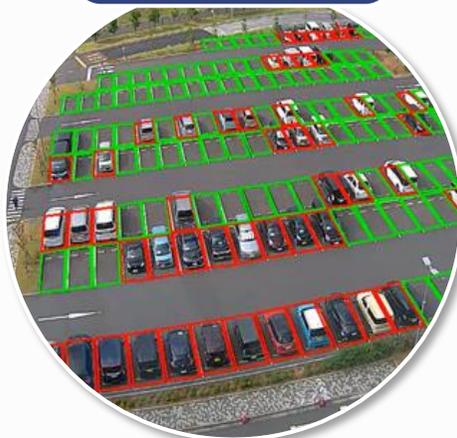
*1 米ドル/円為替レート105円として計算。

ニューラルポケットは、スマートシティを形成するサービスを独自に開発してまいりました

人流・防犯



駐車場・モビリティ



3D都市マップ



サイネージ広告



在宅勤務支援



ファッション解析



駐車場・モビリティサービスは、国や地域を問わず、車両・駐車場情報を可視化します

AIカメラによるリアルタイム満空検知



東京建物が運営する商業施設「SMARK伊勢崎」(左：昼間の様子、右：夜間の様子)



プロロジスが管理する物流施設

駐車場管理システムの画面

駐車場管理ツール

リアルタイム

項目	値
実車数	24
満車数	500mm
監視カメラ	24
監視カメラ	24
平均満度	25%
健康満度	25%
平均満度	80%
日稼時間	15時間
平均満度	24%
車外検知数	5

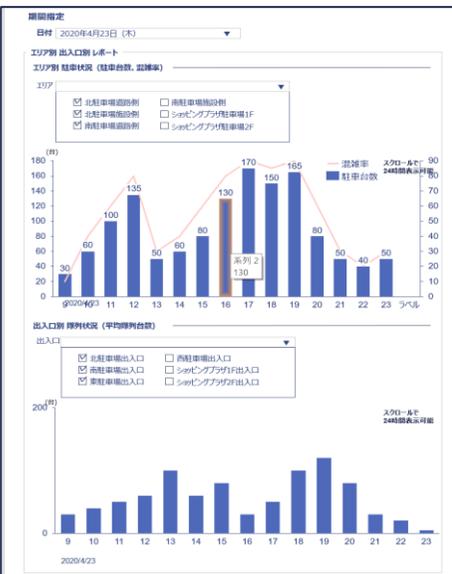
カメラ

カメラ	満	中	可	空	空	空
北駐車場	24	120	130	80	110	70

出入口別 検知状況 (平均検知台数)

カメラ	検知台数
北駐車場	23
南駐車場	17
東駐車場	10
西駐車場	3
シャピングアグリ駐車場	1
シャピングアグリ駐車場	2

駐車場管理システム



CG*によるナンバープレート学習データの自動生成

カメラ画角

遠方撮影

動きブレ

汚れ

泥ハネ

ブロックノイズ

車両の影

変色

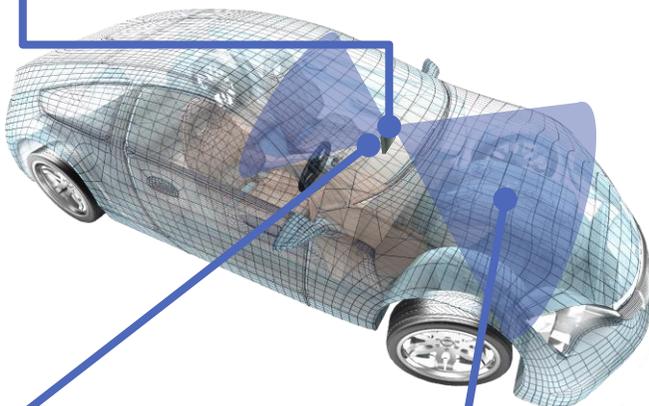
すべての組み合わせ

* コンピュータグラフィックスの略

3D都市マップサービスは、自動運転やマーケティングに必要な交通情報を提供します



10万ダウンロードのユーザーより匿名化したデータを集積し、顧客に提供

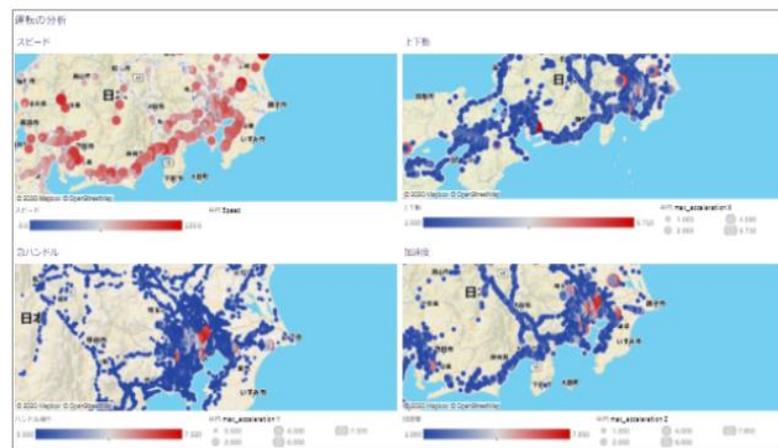
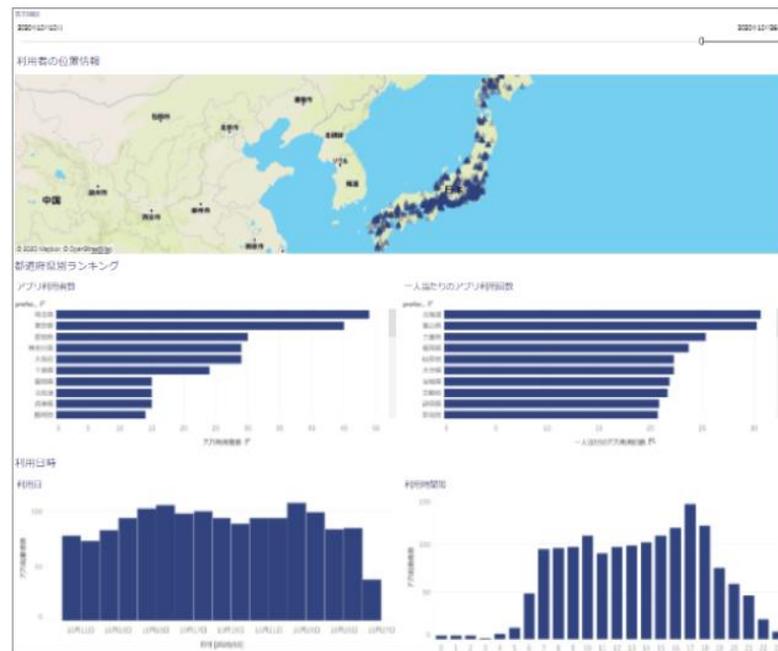


スマホ端末に内蔵されているセンサー

- GPS(緯度、経度)
- 速度
- 加速度:
 - X-軸:道路のくぼみ、穴
 - Y-軸:急ハンドル
 - Z-軸:急発進、急ブレーキ
- 高度情報
- 道路の傾き

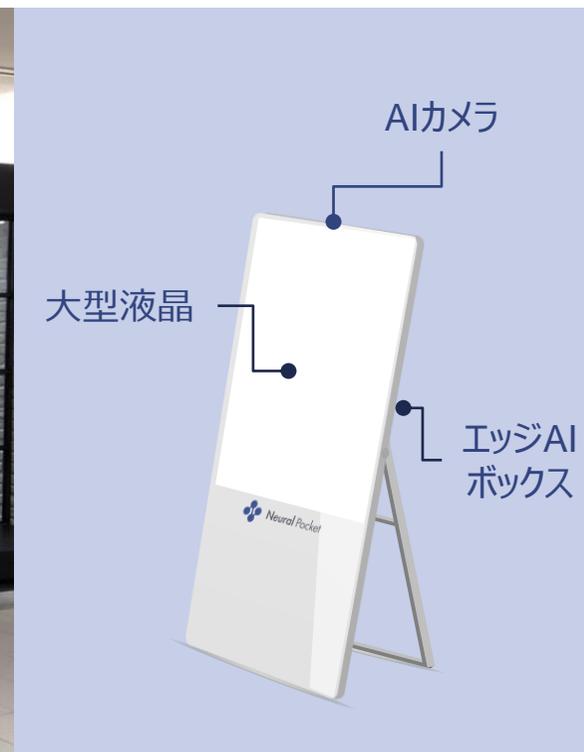
アウトカメラ情報を用いたAI解析^{*1}

- **周囲の物体の情報:**
乗用車/トラックバス(ナンバープレート、色、車間距離、大きさ)、自転車、バイク、信号、標識、歩行者、踏切、駐車場、駐車場価格、ガソリン価格
- **道路の情報:**
白線欠損、道幅、その他落下物
- **天候の情報:**
ワイパー挙動、雨粒



*1 現在未実装の機能も一部含む。

サイネージ広告サービスは、リアル空間の広告をオンライン接続します



当社の広告・コンテンツ配信システム (CMS*)



サイネージ内エッジ端末での店舗解析



エッジ処理により、
個人情報を取得
せずにデータを集約

* コンテンツ・マネジメント・システムの略

在宅勤務支援サービスは、在宅での安心・安全な業務遂行を支援します

リモデスク

PC内蔵カメラの活用が可能



外付けカメラ機器でも可能



遠隔監視でガバナンスを担保

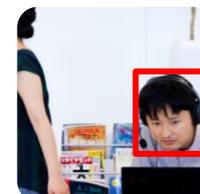


検知する内容の例

在籍・離席



なりすまし



のぞき見



スマホ撮影



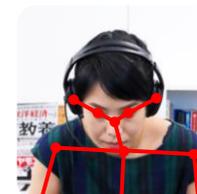
業務外行動（飲食）



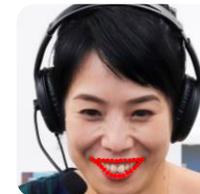
挙手



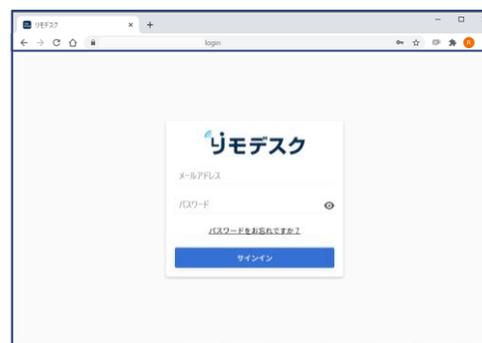
凝視・集中



疲労・笑顔

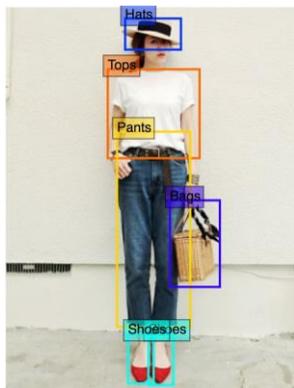


WebブラウザからURLにログインするだけで、ブラウザ上でユーザーのPCのカメラアクセスを取得し、AI検知はユーザーが使用しているPCのCPUを用いてブラウザ上でPC内でエッジ処理される



ファッション解析サービスは、商品企画やECのレコメンド、O2O*化を実現します

SNS画像から服を物体検知



検知された服を自動分類

モデルプロフィール コレクションから一般消費者までのカテゴリ分類 10代 20代 30代 40代以上 年齢区分	アイテム分類 トップス シャツ ブラウス 長袖シャツ セーター パーカー ショーツ/ボクサー スウェット カーディガン タンクトップ キャミソール アウター テーラードジャケット ノーカラージャケット デニムジャケット ライダースジャケット ジャケット ダウンジャケット コート トレンチコート ボトムス デニムパンツ カーゴパンツ チノパン スラックス ワンピース/スカーフ スカート ワンピース オールインワン	色彩分類 ホワイト ブラック グレー ブラウン ベージュ グリーン ブルー パープル イエロー ピンク レッド オレンジ 模様分類 無地 ボーダー ドット ストライプ チェック 花柄
--	---	--

トレンドの経年・時系列推移



全国での貢献



アパレルの商品企画をデジタル化
 全国3,000店舗向けの商品企画
 に活用されています

ディープラーニングビジネス活用アワードを受賞



服の焼却廃棄縮小への貢献や
 アパレル企業の粗利率向上の
 実績で受賞 (ESGへ貢献)

AI MDエンジンを用いて、街なかの消費者属性
 (ビジネスシーン・カジュアルシーン) の解析も実施

* Online to Offlineの略で、オンラインとオフラインを連携させて購買活動を促進させるためのマーケティング施策のこと。

AIサービスの導入方法1：施設単体への展開

当社AI設置例（リリース済）

東京建物



PROLOGIS



三菱地所



今後のAIサービス展開先の広がり（拠点数は国内を例示*1）

駐車場
520万 箇所

小売店舗
100万 店舗

ビル
20万 棟

コールセンター
90万 席

カーナビ
610万 万台

自動販売機
410万 機

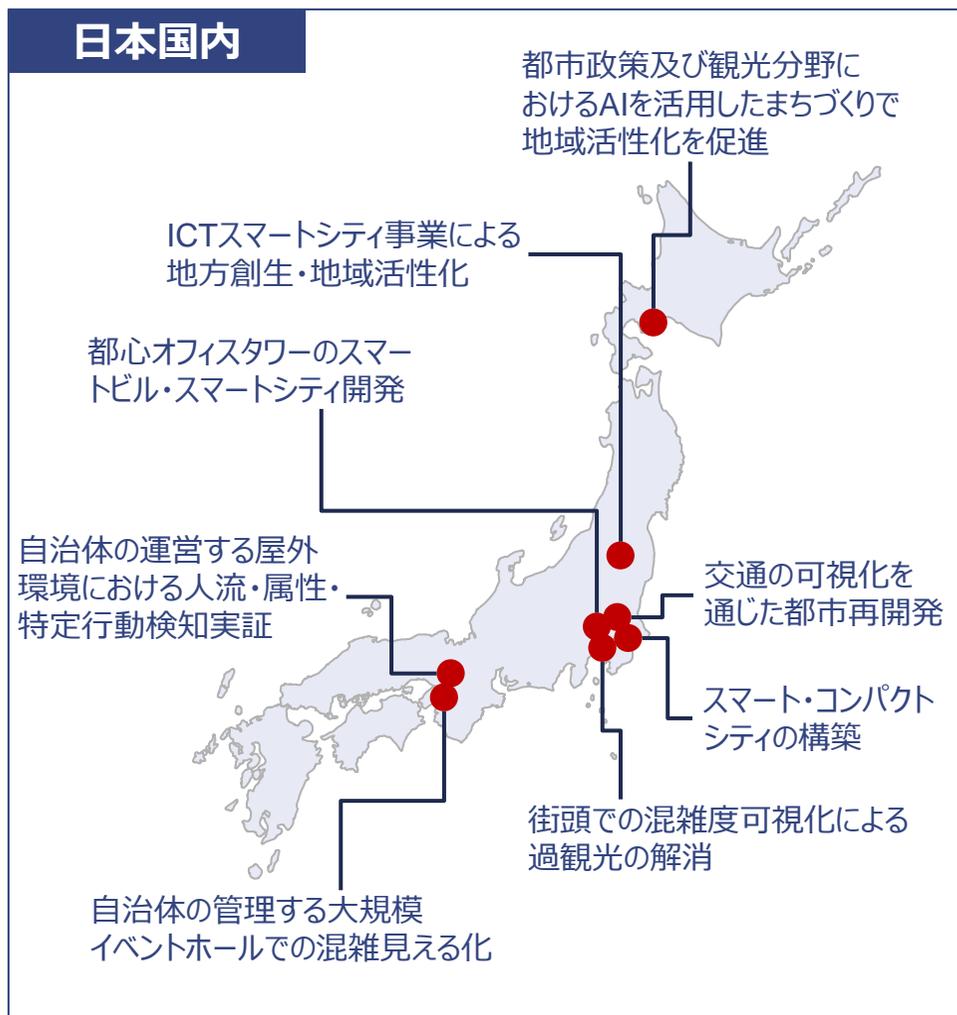
⋮

⋮

⋮

*1 それぞれの出所は次のとおり 駐車場箇所数：一般社団法人全日本駐車協会 全国駐車場整備状況調査2019調べ、カーナビ台数：電子情報技術産業協会調べ 2018年カーナビゲーションシステムの国内出荷台数より、小売店舗数：経済産業省 商業統計より、ビル棟数：国土交通省建築物ストック統計 非住宅建築物 1棟当たり平均延床面積を1万m²とし試算、コールセンター数：コールセンター人材評価システム事業推進コンソーシアム調べ コールセンター就労人口より、自販機：一般社団法人 日本自動販売システム機械工業会調べ。

AIサービスの導入方法2：都市開発や自治体への展開



加盟団体

(スマートシティ関連一部抜粋)

スマートシティ
官民連携
プラットフォーム

国土交通省

OSAKA SMARTCITY
PARTNERS FORUM

MONET TECHNOLOGIES INC.

MaaS社会実装推進フォーラム

10を越える拠点でスマートシティ活動展開

*注 赤丸は当社が活動に取り組んでいる案件拠点の例示。

目次

- 当社が取り組む社会課題と事業内容
- **2020年12月期の進捗と決算ハイライト**
- 今後の事業成長方針

2020年12月期 第3四半期：ハイライト

成長持続性

7四半期連続
増収・増益

売上成長性

売上高前年同期比
+104%成長

収益性

四半期営業利益率
24%

技術：保有特許

累計保有件数 **7件**
出願中 **10件 (+3件)**

() 内は20年Q2比較

財務：浮動比率

浮動株比率
15.2%以上^{*1}

体制：従業員数

35人^{*2} (+10人)

() 内は昨年12月末比較

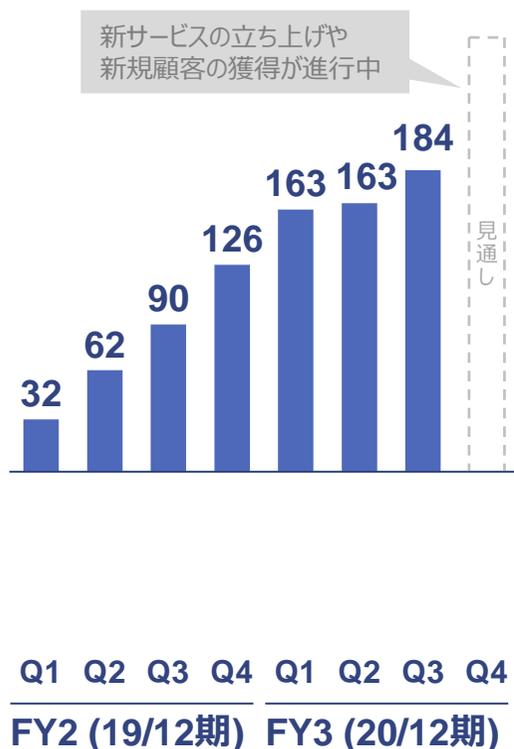
^{*1} 公募株式、売出株式、上場前からの株主の売却分の合計。10月31日時点の発行済株式総数13,971,200株に占める、公募株式総数415,000株、売出株式数215,800株、会社独自調査の結果認識している上場前からの株主による売却株式数1,488,600株合計の割合。

^{*2} 9月30日時点。

2020年12月期 第3四半期：業績の推移

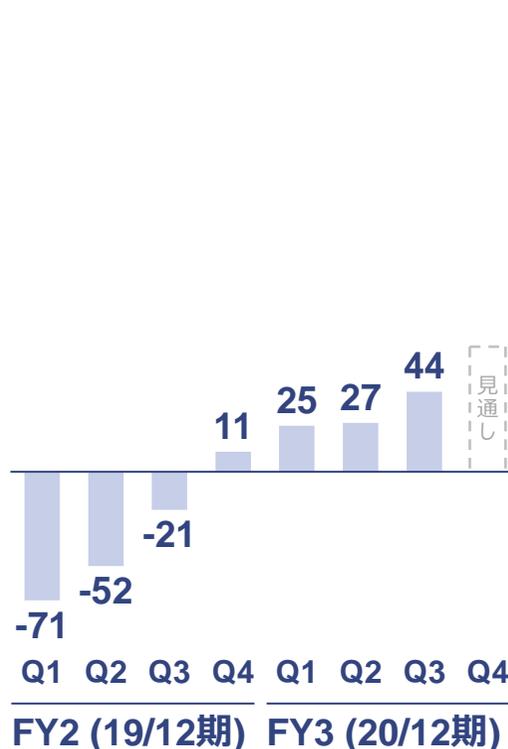
売上高

(百万円)



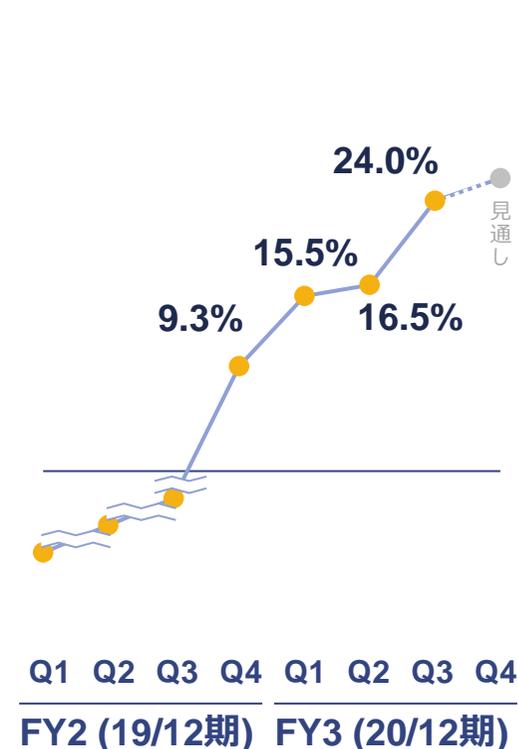
営業利益

(百万円)



営業利益率

(%)



事業業績は通期計画に沿って進捗

2020年12月期 第3四半期：損益計算書

(百万円)	2019年12月期			2020年12月期		
	Q3実績	Q3実績	前年同期比	Q1-Q3	Q1-Q3	前年同期比
売上高	90	184	+103.9%	185	511	+176.5%
売上総利益	57	162	+181.1%	118	466	+293.0%
売上総利益率	63.8%	87.9%	+24.2pt	64.2%	91.2%	+27.1pt
営業利益	-21	44	-	-144	96	-
営業利益率	-	24.0%	-	-	18.9%	-
経常利益	-22	30	-	-150	75	-
当期純利益	-22	30	-	-151	75	-
純利益率	-	16.4%	-	-	14.7%	-

2020年12月期 第3四半期：通期業績予想

(百万円)	2019年12月期	2020年12月期	
	通期実績	通期予想	前年同期比
売上高	311	776	+149.4%
営業利益	-133	165	-
営業利益率	-	21.3%	-
経常利益	-139	139	-
当期純利益	-139	115	-
純利益率	-	14.9%	-

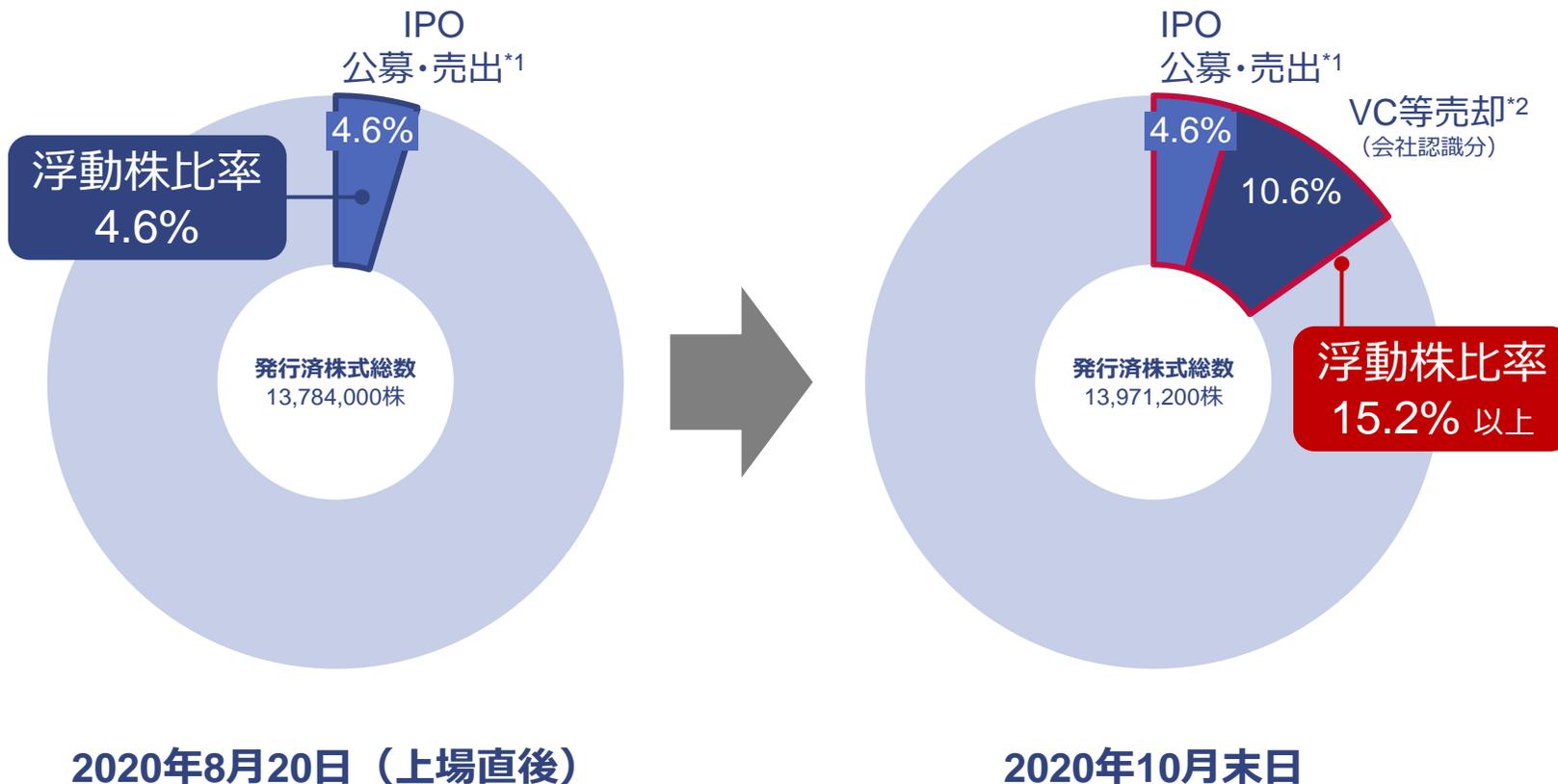
2020年12月期 第3四半期：貸借対照表

(百万円)	2019年12月期	2020年12月期	
	12月末	9月末	対2019年12月末
流動資産	919	1,528	+608
うち現金及び預金	825	1,371	+545
固定資産	137	205	+68
資産合計	1,056	1,734	+677
負債合計	431	617	+185
うち有利子負債*	378	565	+187
純資産合計	625	1,117	+491

・ IPOでの調達 +411百万円
 ・ 有利子負債 +187百万円
 など

* 有利子負債は短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計。

2020年12月期 第3四半期：浮動株比率



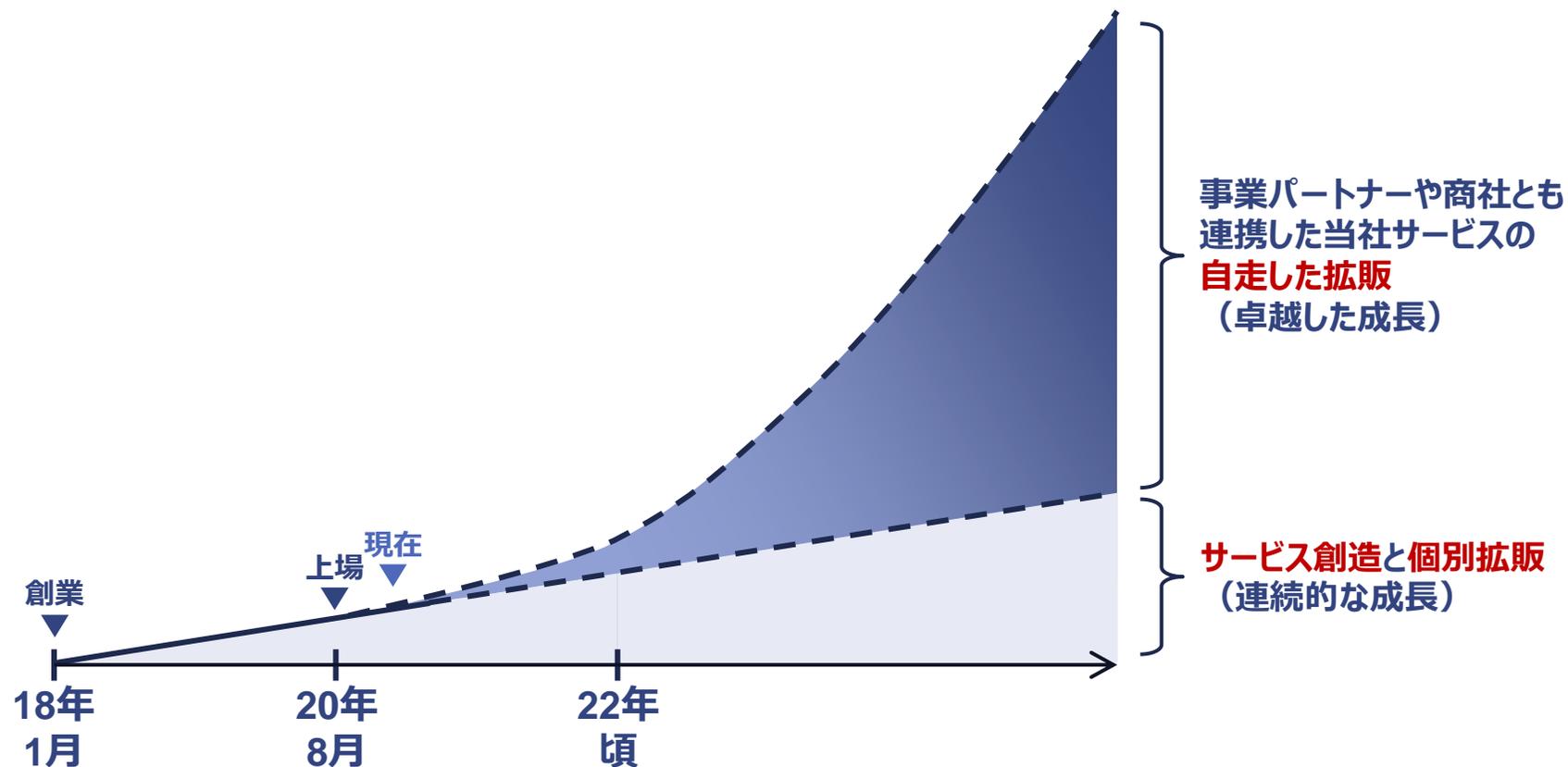
*1 8月20日時点の発行済株式総数13,784,000株に占める、公募株式数415,000株と売出株式数215,800株（オーバーアロットメントを含む）合計の割合。

*2 10月末時点の会社独自調査の結果認識している上場前からの株主による売却株式数1,488,600株。

目次

- 当社が取り組む社会課題と事業内容
- 2020年12月期の進捗と決算ハイライト
- **今後の事業成長方針**

今後の事業成長方針（目指す事業成長のイメージ図）



事業創造

- 企業体制の構築
- 社会課題の特定
- サービスの創出

事業モデルの深化

- サービス品質の成熟化
- 事業パートナーとの提携
- 事業セグメントの定義
- 各事業のKPI策定

スケール感をもった展開

- 中期経営計画の公表
- 事業セグメントとKPIの開示と継続的なモニタリング

補足資料

コンパクトにAIを動かすことができ、個人情報も守れる「エッジAI」を強みとしております

クラウドAI



拡張性・柔軟性低
高消費電力
高遅延
高コスト (通信コスト・サーバー維持費)

エッジAI

→ AI解析前の元データ (映像など)
- - - - - AI解析後のメタデータ (数値)



拡張性・柔軟性高
低消費電力
低遅延
低コスト

**個人情報・
 プライバシー
 にも配慮**

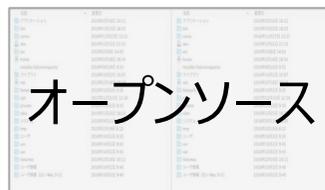
当社の技術開発力の優位性が、事業における競争力を生み出しております



従来手法



手動



オープンソース



クラウド
(大規模サーバー)



受託開発

当社手法



自動



学術理論



エッジ端末



共同事業創出

メリット

高精度
(導入初期から)

小型サイズ
(エッジ機器搭載可能)

即時処理
(個人情報保護・低コスト)

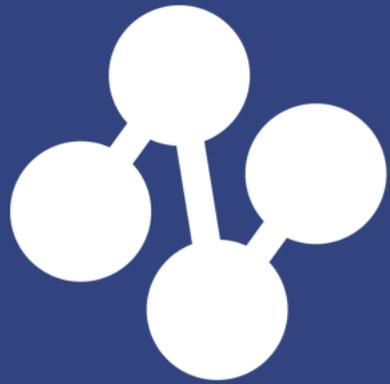
売上継続性
(事業会社とwin-win)

一貫通貫のAI開発力

免責事項

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



Neural Pocket